



日本学術振興会カイロ研究連絡センター定例懇話会(2012年度第3回)のお知らせ

- ◆ 日時：2012年10月18日(木) 18:00 開場 18:30 発表 20:00 懇親会 21:00 閉会
- ◆ 場所：日本学術振興会カイロ研究連絡センター多目的集会室

- ◆ 発表：「考古遺跡から社会へー文化遺産の保存への新たな取り組みー」

伏屋 智美 ふしや ともみ (遺跡保存コンサルタント)

紀元前3000年頃に成立した古代エジプトの遺跡は、古代ギリシアの歴史家をはじめ、18・19世紀の蒐集家、現代の観光客や研究者を魅了し続けている。人類の歴史や観光資源として重要な遺跡ではあるが、その「保存」が重要視されるようになったのは最近のことである。現在、保存修復や遺跡管理の活動が多く、多くの遺跡で実施されている。一方で、遺跡自体を重要視するあまり、遺跡を擁するエジプトの現代社会から切り離されて遺跡保存が実施されることがしばしば起きている。そこで、その影響と遺跡と「文化遺産」を、社会やひととの関係から考えてみたい。

- ◆ 参加：参加者は、氏名を明記の上、発表(聴講無料)および懇親会(20LE)の申込内容を、メール(JSPSlecmnet@gmail.com)あるいは電話・Fax.(02-2736-3752)に、発表日前日までに御伝え下さい(収容人数の関係上、参加者は40人までに限らせて頂きます)。

注) 本定例懇話会を円滑に進めるために、2011年度より、事前に参加人数を事務局が把握し、懇親会は参加費支払型にしております。ご理解頂ければ幸いです。

日本学術振興会カイロ研究連絡センター
JSPS Cairo Research Station
Flat no.4, 9 al-Kamil Muhammad Street
Zamalek, Cairo, Egypt
Tel. Fax. 02-2736-3752

